

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 25 日作成)

委員会名	都市気候対策小委員会	主 査 名： 持田 灯
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名： 仙田 満
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	ヒートアイランドの形成に影響を及ぼす要因およびその対策手法に関する近年の研究成果を Review するとともに、行政の対応や具体的対策事例に関する情報収集を行う。これらを踏まえて、ヒートアイランド対策を合理的に進めるための評価項目、評価手法について整理し、提言を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	持田灯(主査:東北大) 足永靖信(幹事:建築研究所) 渡邊浩文(幹事:東北工大) 村上周三(東京大学) 梅干野晁(東京工業大学) 森山正和(神戸大学) 成田健一(日本工業大学) 堤純一郎(琉球大学) 下田吉之(大阪大学) 大岡龍三(東京大学) 谷本潤(九州大学) 一ノ瀬俊明(国立環境研) 近藤裕昭(産業技術総合研)	
設置 WG (WG 名:目的)	都市気候モデリングWG(主査:大岡龍三・東京大学) 都市形態、土地利用、エネルギー消費等の都市や建築に関わる諸要因が都市の気候変化やエネルギー消費に与える影響を予測・評価するための解析手法を整備し、これを用いて各種ヒートアイランド対策の効果を定量的に評価する。	
2003 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回 8/18・11 名, 第 2 回 12/2・6 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>・都市気候対策に関する公開勉強会： ・第 5 回「風の道 - 市街地形態と都市の通風・換気 - 」(2003.08 開催) , ・第 6 回「ヒートアイランド対策外皮技術の動向～クールルーフを事例として」(2004.03 開催) , ・第 7 回「クリマアトラス実用の技法」企画・準備(2004.04 開催予定) ・建築雑誌「活動レポート」への公開勉強会等の報告投稿： ・第 3 回勉強会報告(建築雑誌 2003 年 8 月号掲載) ・第 4 回勉強会報告(建築雑誌 2003 年 8 月号掲載) ・第 1 回から第 4 回を終えて(建築雑誌 2003 年 8 月号掲載) ・2004 年度大会研究協議会企画の検討と提案 「ヒートアイランド対策のための学会提言に向けて」を企画立案し、本委員会に提案した結果、これが採択された。</p> <p>喫緊の社会的課題である都市気候対策について公開勉強会を前年度より継続して実施し、毎回多くの参加者を得ている。これらの活動は学会内のみならず学会外への影響も大きく、本小委員会がこの分野において学術的・社会的に強い牽引役となっている。</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/tkankyo/s0/sc08.htm</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>各勉強会では関連分野の指導的立場にある学識経験者等にコメンテーターとしてご参画いただき、非常に有益な議論の場を形成することが出来ている。これまでの成果を踏まえた学会提言の検討も開始されており、当初の活動計画を十分に達成していると考えられる。</p>
その他評価すべき事項	